10ICG特集

Opening Session and Opening of Exhibition

旭化成ジオテック（株）　　鍋嶋　靖浩

9 月 22 日（月）9 時、uccelli-trio によるモーツァルトの演奏から始まりました。ここで、演奏がまだ終わっていないのに G.heerten 氏が喋り出してしまう一幕もありましたが、Opening を飾る素敵な演奏でした。

uccelli-trio

続いて German Geotechnical Society (DGGT) の G.heerten 議長から過去の開催国を紹介しながら第 10 回の記念すべき会議が WELL COME TO BERLIN と共に Opening となりました。

まず、ジオシンセティックスで構築された New Berlin Brandenburg Airport の紹介があり、飛行機の前輪が 15cm 以上沈まないように CBR を 15～20%にするために 500,000m^2 のジオグリッドと地下水保全のため 46,000m^2 の HDPE 遮水シートと 550,000m^2 の不織布が使われとのことですが、度重なる開港の遅れが問題となっているようです。

G.heerten 議長

第二次世界大戦後の分断されたドイツが 1989 年 11 月 9 日にベルリンの壁が倒壊し、今年の 11 月 9 日は 25 周年となるが、100 年前に第一次世界大戦が始まり、75 年前に第二次世界大戦が始まったことを忘れず、国境・爆弾・暴力を失くし、もっと会話・旅行・貿易・信頼を実践しよう、そしてこの国際会議でも、もっと会話・旅行・貿易・信頼を実践しようと結びました。

続いて Jorge G .Zornberg IGS 会長が、理解を提供し世界の至るところでのジオシンセティックの技術の適切な使用を促進することが IGS の中核目的であること、IGS の支部加入数の推移と 43 ヶ国が支部となったこと、今後開催予定の 2016 Geo Amerikas、2016 Euro Geo、2016 Geo Africas、2016 Geo Asia、そして次回 2018 年 IGS 国際会議が韓国ソウルで開催されることが発表され、German IGS の Martin Ziegler 支部長のスピーチで Opening Session が終了しました。

Exhibition は、ヨーロッパに多数のジオシンセティックスメーカーがあることから、およそ 150 もの会社・団体が出品展示していました。会場は各セッションルームの中心にあり、各所にミネラルウォーター、ソフトドリンクが置かれ、コーヒーブレイク、ランチも豪華に振る舞われ、大変リラックスでき、多くの方で賑わっていました。世界中から約 2,400 名の専門家が参加されたとのことで、大変華やかな国際会議でありました。